



●全札所を  
結ぶ  
情報紙

発行所/伊予鉄不動産株式会社  
「へんろ」編集部  
松山市平和通6-98 ☎089(948)3192  
監修  
四国八十八カ所霊場会  
印刷/松山 アマノ印刷  
・1部 60円 ・郵送料 60円  
・1年契約 1,440円(郵送料込み)

昭和59年7月16日  
第3種郵便物認可  
毎月1日発行

# ゴミを拾って遍路体験

## 明德短大生 二巡目、立江寺まで



ビニール袋を提げ、ゴミを拾いながら歩く黄書達さん(右側)

歩き遍路体験学習を  
実践する今治明德短大  
の学生、教職十三名が  
九月十三日、第一番壺  
山寺を出発した。  
同学が地域文化論の  
一環として、歩き遍路  
を正規のカリキュラム  
に取り入れたのは二〇  
〇一年。この年は地元、  
大寶寺から前神寺を歩  
き、あらためて一番か  
らスタートしたのは翌  
年のこと。昨年、一四  
〇〇キを延べ三十七日  
かけて結願し、高野山  
の町石道を歩いた。  
二〇〇二年は五日間  
かけて一番から二十二  
番平等寺を歩いたが、二  
巡目の今回は十九番立  
江寺まで。スケジュー

## 「独人捕虜」にお接待、の歴史学ぶ

学生が各  
札所の歴  
史や特徴  
を説明



ルに余裕をもた  
せ、地域の歴史  
や文化に接する  
時間を増やし  
た。この日も出  
発前に鳴門市ド  
イツ館を訪れ、  
第一次世界大戦  
の捕虜を「お接  
待の心」で受け  
入れた歴史を学  
んだ。また、長  
命杉や黄金井の  
井戸を覗くなど  
各札所寺院の伝  
説なども一つひ

み無くした  
「いと情報提  
供を求めた。  
自分の忍耐  
力を試した  
い」と中国か  
らの留学生・  
黄書達(こう  
しよき)さん  
も参加。黄さ  
んは「四国の  
文化は、遍路  
をしなければ  
した。  
一行は予定通り十七  
日、立江寺に無事到着

とつ確認していた。  
遍路道のクリーン作  
戦を進める徳島共生塾  
一步会の新開善二理事  
長も駆けつけ、お接待  
の手ぬぐいを手渡しな  
がら、「遍路道からご  
た。  
企画の段階から担当  
してきた同学の市川ひ  
ろみ教授は、「学生は  
歩くことを通して、さ  
まざまな発見をする。  
毎年、歩く学生は変  
わっても、五日間を歩  
ききったあとに見せる  
満ち足りた笑顔は変わ  
らない」と語る。



極楽寺山門を出る明德短大生

分からな  
いと思う。  
それぞれ寺  
の趣も異な  
る。帰国後  
は自分の見  
たこと、学  
んだことを  
多くの人に  
伝えたい。  
将来は日本  
と中国の観  
光に関わる  
仕事をした  
い」と言う。